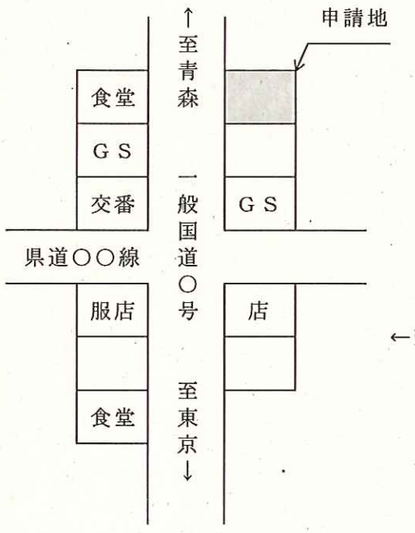
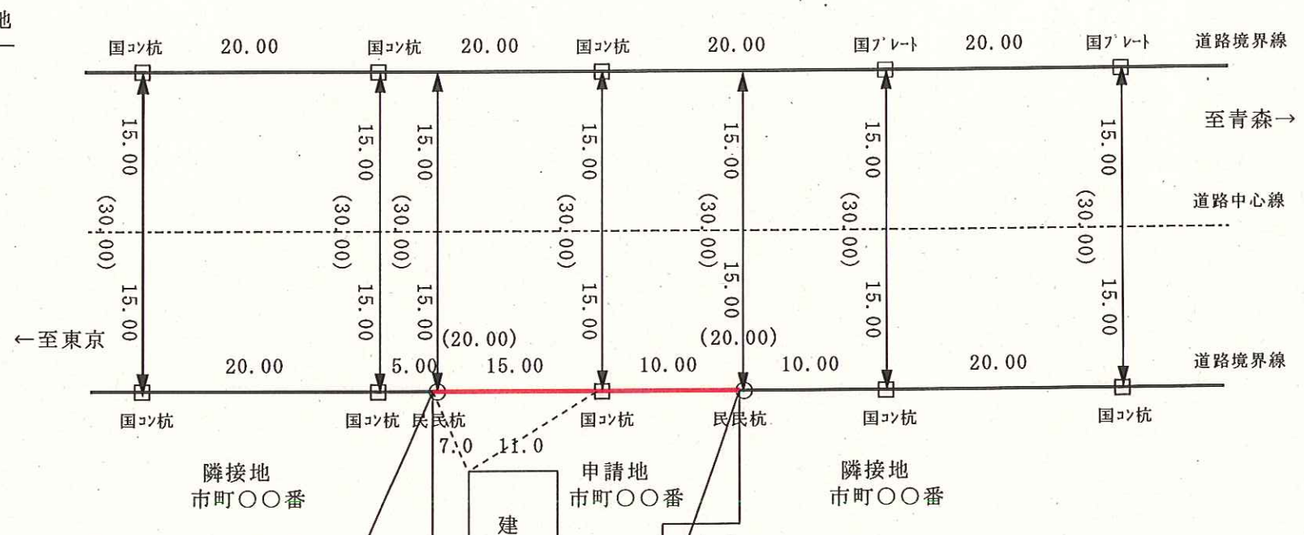
実測平面図記載例

見取図



実測平面図　縮尺＝1/○○



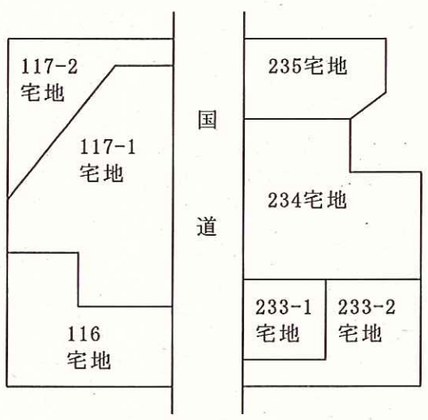
※起点（東京）を左側に画く。

※国道境界部分を赤鉛筆で着色

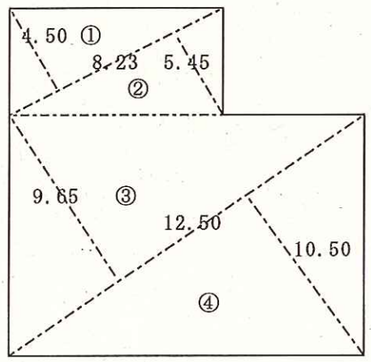
○○番地との境界について相違ありません。				
地　番	土地所有者住所	氏　名	印	同意年月日
国　道 管理者				

現地立会年月日	平成　　年　　月　　日
立 会 者	仙台河川国道事務所所
申 請 人 (又は代理人)	住　所 氏　名　　印

仙台法務局○○出張所備付公図写



求積図



三斜求積表

地番	234		
記号	底　辺	高　さ	積
①	8.23	4.50	37.0350
②	8.23	5.45	44.8535
③	12.50	9.65	120.6250
④	12.50	10.50	131.2500
		倍面積	333.7635
		面　積	166.88175
		地　積	166.88 m2

図　面　名	

注１　道路幅員の距離は、境界杭間及び隣接民民境界箇所を記入する。
注２　１の距離を記入することが困難な場合は、歩道端、側溝端、舗装端等からの距離を記入する。
注３　付近の永久的構造物(ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁、橋梁、歩道橋、建物等)からの距離も必要に応じて記入する。
注４　境界確認申請地の左右各プラス１本目の国交省杭までの作図を原則とする。「対向地杭からの横断距離は、省略しても良い」
注５　図面に表示する杭には、その所管を表示する。
注６　図面サイズは、Ａ１版を標準とする。